

東京大学低温センター  
低温センター・ニュース

<http://www.crc.u-tokyo.ac.jp> TEL. 2851,2852(事務室), 2853(技官室)

### ○本年度の寒剤供給価格が決まりました

6月30日に開かれた第89回低温センター運営委員会において今年度の寒剤供給価格が次のように決まりましたのでお知らせします。

#### 液体ヘリウム

4月～6月供給分は360円/L(特別供給:1,020円/L)とします。

7月以降供給分については、料金は回収率に応じ以下の算式で決定されます。

供給単価(円/L) = 191 + 8.45 × 損失率(%)

単価は原則として4半期毎に研究室単位で算出します。ただし、ガス流量計や実験装置の共用に伴い研究室個別の集計が不可能なケースについては、研究室の意向を聞いたうえで複数の研究室を設定の単位とします。また、低温センター共同利用装置・共同利用実験室での使用分は360円/Lとします。

このように回収率に応じて料金は最低191円から最高1,000円以上まで大きく変わります。従来にもましてヘリウムガスの回収向上に努めていただきたいと思います。

なお、回収率の算出は従来通りの方法によって行いますので、月初めのデータの報告はくれぐれも忘れないようにしてください。また計算上のミスを除き、得られた結果についてはこれを了承いただきます。

#### 液体窒素

平成9年度の容器別単価を一律2円ずつ引き下げ、以下の通りとします。

容器内容積	平成9年度単価	改定単価
15L以下	72 (円/L)	70 (円/L)
15L超、25L以下	67	65
25L超、35L以下	62	60
35L超	57	55
総重量100kg以上	47	45

### ○液体ヘリウム供給停止日のお知らせ

施設及び液化装置の保安点検のため7月の供給停止日を以下の通りとします。間違いのないように申し込み下さい。

**7月8日(水) 7月15日(水)**

なお、液体ヘリウム供給停止日もヘリウム容器の回収及び液体窒素の供給は通常通り行います。

## ○ヘリウムガス回収率

平成10年4月分（単位は全て立方 $\text{dm}^3$ ）

	4/1 在庫	5/1 在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	209.2	294.3	555.1	317.0	153.1	67.4
工サブ	490.0	650.3	2405.2	1977.7	267.2	88.1
生化NMR	106.4	133.0	67.9	26.4	15.0	63.8
農学NMR	66.0	76.2	84.0	69.9	3.9	94.7
総合試験所	107.5	87.6	431.2	397.1	54.0	88.0
システム量子	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
合計	979.1	1241.4	3543.4	2788.1	493.1	85.0
特別価格	—	—	21.0	0.0	21.0	—
備考	$\text{回収率} = \frac{\text{回収量}}{(\text{供給量} + 4/1\text{在庫}) - (5/1\text{在庫})}$ 回収ガスは純度100%として回収量、回収率を計算					

平成10年5月分（単位は全て立方 $\text{dm}^3$ ）

	5/1 在庫	6/1 在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	294.3	185.9	397.6	364.8	141.2	72.1
工サブ	650.3	533.4	2528.4	2331.2	320.4	87.9
生化NMR	133.0	113.4	0.0	22.9	-3.3	—
農学NMR	76.2	66.8	0.0	28.8	-19.3	—
総合試験所	87.6	112.0	666.4	446.6	195.4	69.6
システム量子	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
合計	1241.4	1011.5	3592.4	3194.3	634.3	83.6
特別価格	—	—	22.4	0.0	22.4	—
備考	$\text{☆回収率} = \frac{\text{回収量}}{(\text{供給量} + 5/1\text{在庫}) - (6/1\text{在庫})}$ 回収ガスは純度100%として回収量、回収率を計算					